

施策の評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け						
政策体系	総画合計	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード	040930
		施策	30	公共交通の充実	本冊ページ	77
	関連個別計画	第2次津市地域公共交通網形成計画				
担当部局		都市計画部				
施策の内容(番号)		096		～	097	

2 「施策の内容」の総合評価と今後の方向性				
番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価		担当課
		選択区分	今後の方向性 選択区分	
096	利用者のニーズや地域ごとの特性を踏まえ、民間路線バスや鉄道、コミュニティバス、地域住民運営主体型の乗合タクシーなどの連携を図り、効率的で利便性の高いコミュニティ交通システムの整備を推進し、利用を促進します。	A	②	交通政策課 /建設政策課/地域振興課(美杉)
097	海上アクセス航路については、三重県、運航事業者、中部国際空港等と連携したPR活動やサービスの向上に取り組み、本市のみならず三重県の海の玄関口として、国内各地さらには世界とを結ぶ広域的な交流連携を図るための機能を強化します。	A	①	交通政策課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
 ※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3 「施策」の総合評価			
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	区分	選択区分	総評(施策の進捗状況や効果等を端的に記載)
	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A	A

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	A	A	A	A	A			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード	040930096
		施策	30	公共交通の充実	本冊ページ	77
	関連個別計画	第2次津市地域公共交通網形成計画(令和2年度～令和7年度)				
	担当部局	都市計画部				
	施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果	096	利用者のニーズや地域ごとの特性を踏まえ、民間路線バスや鉄道、コミュニティバス、地域住民運営主体型の乗合タクシーなどの連携を図り、効率的で利便性の高いコミュニティ交通システムの整備を推進し、利用を促進します。			

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)	
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	実施評価 事業評価		
	担当課		何		決算額 (千円)	今後の方向性		
096-1	交通政策関係事業	コミュニティ交通システムの整備	効	公共交通を維持することで、市民の日常生活に必要な移動手段を確保することができる	◆	津市コミュニティバス等の運行による日常生活の移動手段の確保	◎	津市コミュニティバスにおいて、運行事業者や利用者の意見を反映しながら、停留所の新設やダイヤ変更等を行い、利便性の向上を図ることで利用者の増加を図ることができたため実施評価は「◎」、事業評価は「○」とした。(令和6年度利用者数:75,653人) 一方で、コミュニティバスを利用できない地域から路線延伸の要望や自宅から停留所までの距離が遠いなど、現行の運行形態での解決が難しい要望もあり、今後も引き続き、地域住民の声をしっかりと聴きながら、より利便性の高い交通システムの構築に取り組む。
	交通政策課		誰	市民	◇	津市コミュニティバス等の利用者数	○	
			何	買物や通院等日常生活に必要な移動が可能となる	204,069 (千円)	拡充・充実		
096-2	伊勢鉄道支援事業	伊勢鉄道の施設設備の整備に対する支援	効	施設設備の整備に対する支援を県と沿線等15市町で行うことで、伊勢鉄道株式会社が安全運行を確保し、自律的運営を継続することができる。	◆	施設設備の整備に対する支援の実施	◎	新型コロナウイルス感染症の影響により取り崩した基金を令和3年1月に締結した「新型コロナウイルス感染症の影響による伊勢鉄道株式会社への支援に関する覚書」に基づき支援を行い、経営状況の安定化を図ることができたことから「◎」とした。 今後も伊勢鉄道が安全運行を確保し、自律的経営を継続できるよう必要に応じて支援していく。
			誰	伊勢鉄道株式会社	◇	県と沿線等15市町で実施した支援額	◎	
	交通政策課		何	安全運行と自律的運営の継続	39,095 (千円)	現状維持		

施策の内容評価シート(令和6年度分)

096-3	津駅周辺 基盤整備 推進調査 事業	津駅周辺基盤整備 推進のための 計画の作成、概 略設計、調査等	効	津駅西口駅前広場の再整備及 び津駅東西自由通路の整備等 により、交通の最適化や賑わい 機能等の充実が図られる	◆	津駅西口駅前広場基本 計画の作成、津駅 周辺基盤整備の方向 性(ビジョン)の作成、 津駅西公共自転車等 駐車場の整備運営に 係る官民連携導入可 能性調査、津駅東西 自由通路、津駅西口 公共自転車等停車場 の概略設計	△	津駅西口駅前広場基本 計画は策定できたが、外部 協議に時間を要し、自由通 路及び駐輪場の整備検討 等の事業進捗が遅れ、事 業の完了を翌年へ繰越し たため、「△」とした。 今後も津駅周辺エリアの 再整備に向けて、より効果 的な事業となるよう取り組 んでいく。
	建設政策 課		誰	市内外の人々	◇	基本計画の作成、ビ ジョンの作成、概略設 計、調査の完了	△	
			何	津駅周辺道路空間の安全性、快 適性向上による地区の魅力の向 上		0(千円)	拡充・充実	
096-4	交通政策 関係事業	次期地域公共交 通計画の策定	効	地域公共交通計画を策定するこ とで、地域にとって望ましい地域 旅客運送サービスの姿を明らか にすることができる	◆	令和6年度及び令和 7年度の2か年での 計画の作成	◎	津市地域公共交通計画 の策定について、令和6年 度は計画通り作業を進める ことができたことから評価を 「◎」とした。 令和6年度に引き続き、 令和7年度も作業を進め、 計画の策定を目指して取り 組みを進めていく。
	交通政策 課		誰	市民	◇	津市地域公共交通活 性化協議会における 計画素案の作成	◎	
			何	地域旅客運送サービスの持続可 能な提供の確保ができる		4,225(千円)	現状維持	
096-5	交通政策 関係事業	デマンド型交通の 実証実験運行	効	実証実験運行を実施することで、 課題や問題点を検証することが できる	◆	津市コミュニティバス の再編を見据えた 「市街地」、「中山間 地」、「交通不便地 区」を対象とした3地 域での実証実験運行 の実施	◎	3地域での実証実験運行 の実施により、デマンド型 交通の導入を想定した津 市コミュニティバス再編に おける課題や問題点の検 証ができたことから評価を 「◎」とした。 実証実験で得られた結果 等を踏まえ、今後のコミュニ ティバス再編の方向性を検 討していく。
	交通政策 課		誰	市民	◇	3地域での実証実験 運行の実施による課 題や問題点の検証	◎	
			何	本格運行に向け、改善点を洗い 出すことができる		6,349(千円)	完了	
096-6	域内移動 事業	レンタサイクルの 貸出とレンタサイ クルの管理運営	効	美杉地域及び白山地域における 交通手段の提供により、地域の 活性化及び観光振興を図る	◆	道の駅美杉、奥津駅 前、美杉総合支所、 家城前での貸出・管 理	◎	運営方法、老朽化が進む 自転車の更新、サイクル ポート箇所の見直し等を行 う。
	地域振興 課(美杉)		誰	一般市民	◇	年間利用者683人	◎	
			何	各ポートでの電動アシストの貸出 し、回収・移送		1,308(千円)	見直し	
096-7			効		◆			
			誰		◇			
			何			(千円)		

施策の内容評価シート(令和6年度分)

096-8			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
096-9			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
096-10			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
096-11			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	②
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	A	A	A	A			
今後の方向性	①	①	①	①	①	①	②			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード	040930097
		施策	30	公共交通の充実	本冊ページ	77
	関連個別計画	第2次津市地域公共交通網形成計画(令和2年度～令和7年度)				
担当部局		都市計画部				
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		097	海上アクセス航路については、三重県、運航事業者、中部国際空港等と連携したPR活動やサービスの向上に取り組み、本市のみならず三重県の海の玄関口として、国内各地さらには世界とを結ぶ広域的な交流連携を図るための機能を強化します。			

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)	
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	実施評価 事業評価		
	担当課		何		決算額 (千円)	今後の方向性		
097-1	津なぎさまち管理運営事業	航路の維持向上	効	指定管理者制度により、津なぎさまち内旅客船ターミナルの効率的で、安全性の確保に留意した適正な管理運営を行うことで、安定的な施設の提供ができる	◆	指定管理者による適正な管理運営の実施及び海上アクセスルートの運航継続及び運航便数の増便	○	指定管理者制度による施設の適正な維持管理を行うことで、安定的な施設の提供をすることができたこと、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して運航事業者を支援することにより、海上アクセスルートの運航事業を継続することができた。また、昨年度から運航便数の一部増が見られた(11往復22便の日数が1日増)ため、令和6年度の事業評価は「◎」とした。 施設の適正な維持管理を行うとともに、利用促進施策を行いつつ、今後は運航便数による評価にとらわれず、利便性の向上と利用者数の確保を図っていく。
	誰		施設利用者	◇	指定管理者による適正な修繕等の実施、海上アクセス運航事業の継続及び運航便数の増便	◎		
	交通政策課		何	施設の安全安心な利用をすることができる 短時間で津なぎさまちから中部国際空港までを往来することができる	95,605 (千円)	拡充・充実		
097-2	伊勢湾ヘリポート管理運営事業	ヘリポートの活用	効	指定管理者制度により、津市伊勢湾ヘリポートの効率的で、安全性の確保に留意した適正なヘリポートの管理運営を行うことで、安定的な航空交通手段の提供ができる	◆	指定管理者による適正な管理運営の実施	◎	指定管理者制度による施設の効率的で安全性の確保に留意した適正なヘリポートの管理運営を行うことで、安定的な航空交通手段の提供ができたので「◎」とした。 今後も引き続き、効率的で安全性の確保に留意した適正な施設の管理運営を行う。
	誰		航空交通事業者	◇	指定管理者による適正な修繕等の実施及び安全指標の達成	◎		
	交通政策課		何	ヘリポートの効率的で、安全性の確保に留意した適正なヘリポートの管理運営を行う	1,945 (千円)	現状維持		

施策の内容評価シート(令和6年度分)

097-3	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
097-4	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
097-5	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
097-6	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	A	B	A	A	A			
今後の方向性	①	①	①	①	①	①	①			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

